

NEWS RELEASE



2015年7月1日
日本新薬株式会社
広報部
TEL : 075-321-9103

各位

日本新薬は、このたびメルクセローノ株式会社が保有する排卵誘発剤・性腺機能障害治療薬「ゴナールエフ®」の国内コ・プロモーション権を取得し、本日より製品情報提供と情報収集活動を開始しました。

日本新薬株式会社（本社：京都市南区、代表取締役社長：前川 重信、以下 日本新薬）は、このたびメルクセローノ株式会社（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：岡本光治、以下メルクセローノ）が保有する排卵誘発剤・性腺機能障害治療薬「ゴナールエフ®」について、国内におけるコ・プロモーション権を取得し、7月1日より本剤の製品情報提供と情報収集活動を開始しましたのでお知らせいたします。

ゴナールエフ®は、視床下部一下垂体機能障害又は多嚢胞性卵巣症候群に伴う無排卵及び希発排卵における排卵誘発、低ゴナドトロピン性男子性腺機能低下症における精子形成の誘導の適応が認められた遺伝子組換えヒト卵胞刺激ホルモン製剤です。日本では、2006年よりメルクセローノ（発売当時セローノ・ジャパン株式会社）が低ゴナドトロピン性男子性腺機能低下症における精子形成の誘導治療薬として販売し、2009年より、メルクセローノが同適応に加えて視床下部一下垂体機能障害又は多嚢胞性卵巣症候群に伴う無排卵及び希発排卵における排卵誘発の治療薬として販売しています。

ゴナールエフ®は、世界103カ国で排卵誘発剤として、また92カ国で性腺機能障害の治療薬として承認されており、海外ではMerck Serono（米国及びカナダではEMD Serono）が販売しています。

日本新薬代表取締役社長 前川重信は次のように述べています。「日本新薬は、産婦人科領域において月経困難症治療剤ルナベル®等のプロモーション活動を積極的に行っており、同時に、月経困難症で苦しんでいらっしゃる患者さんのために疾患の啓発活動も推進しています。今後、排卵誘発剤・性腺機能障害治療薬ゴナールエフ®のプロモーション活動を積極的に進めることで、両社で不妊に悩む方々の治療に貢献していきたいと考えます。」

メルクセローノ代表取締役社長 岡本光治は次のように述べています。「この度、弊社のゴナールエフ®の日本新薬とのコ・プロモーション提携を発表できますこと、さらにこの提携を通じてより多くの患者さんにゴナールエフ®をお届けできる機会が増えることを大変うれしく思います。メルクセローノは不妊に悩む多くのカップルの支援することにコミットしており、本コ・プロモーションを通じて、今後は両社で不妊治療を希望するカップルの方々が赤ちゃんを授かるという夢の実現に貢献してまいります。」

ゴナールエフ®（一般名：ホリトロピン アルファ）について

ゴナールエフ®は、遺伝子組換え技術を用いて製造された、ヒト卵胞刺激ホルモン（hFSH）と呼ばれるグループに属する注射薬です。海外においても男女の不妊治療薬として高い実績を持ち、103 カ国で排卵誘発剤として、また 92 カ国で乏精子あるいは無精子を伴う性腺機能障害の治療薬として承認されています。また、ゴナールエフ®皮下注ペン は 84 カ国以上で承認されています。

*製品写真



ゴナールエフ®
皮下注ペン300



ゴナールエフ®
皮下注ペン450



ゴナールエフ®
皮下注ペン900



ゴナールエフ®皮下注用75



ゴナールエフ®皮下注用150

日本新薬株式会社について

日本新薬株式会社は、会社創立の大正8年（1919年）以来、約100年間にわたって研究開発型の製薬会社として、特長ある新薬の開発に取り組んでいます。

当社の詳細については<http://www.nippon-shinyaku.co.jp/>をご覧ください。

メルクセローノ株式会社について

メルクセローノ株式会社は、ドイツ、ダルムシュタットに本社を置くメルク（Merck）のバイオ医薬品事業部門の日本法人で、2007年10月1日に発足し、がん及び不妊治療領域を重点領域としています。

メルクセローノ株式会社の詳細については www.merckserono.co.jp をご覧ください。

以上